



世界に希望を生み出そう

会長 辻 啓明 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30
副会長 下郡山 永一 例会場 レンブラントホテル海老名
幹事 松本 健司 事務局 海老名プライムタワー10階
副幹事 上 蘭 朗 海老名市中央2-9-50
会長エレクト 篠原 康史 TEL: 046(233)5122
編集:佐藤 まどか 飯島 博之 FAX: 046-233-3322
窪 悠久 下郡山 永一 上 蘭 朗 E-mail: keyakirc@alto.ocn.ne.jp

第 1240回 例会 2023年（令和 5年）10月26日（木）

本日の例会

10月26日 ガバナー公式訪問

11月の予定

11月2日 休会
11月9日 卓話 下原会員
11月16日 綾瀬春日・海老名欖合同委員会
11月23日 休会
11月26日 地区大会

前回の例会 第1238回

ビジッター・ゲストの紹介

地区米山記念奨学会 副委員長 府中洋様
オブザーバー 川野 友里江様
ビジッター：磯部 芳彦様（座間RC）

会長挨拶

今日は、府中さん副委員長に来ていただいて、地区米山奨学委員副委員長で、昨年までお世話になりました。地区の委員会に行かれてる方、うちのクラブだと伊藤さん、下郡山さん、小川さん、自分が1番その時は会長エレクトの時に、1年間お世話になって、他のクラブに行くと、メイク行ったりすると、そのクラブの方と仲良くなったりして、ロータリークラブの良さ色々知ることができる、広がって。地区に行くと、地区は、あの、さらにいろんなクラブの、選ばれた方というか選出された方が集まってるんで、より広がりやすいのかなって自分は感じました。うちのクラブの中で、自クラブだけでなく、他



のクラブにも、輪が広がっていくように、ロータリークラブっていうのをうまく、言い方悪いかもしれないですけど、使って、交流をどんどん広げてほしいなっていうのは私の希望です。皆さん、是非そういう声がかかった時には、ご協力よろしくお願いたします。

卓話：卓話 米山記念奨学事業とその現況について 米山記念奨学委員会 府中副委員長



米山奨学会は日本民間最大の国際奨学事業でございます。ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリーが作り育てた独自の事業で、34地区、全地区

が参加する多地区合同プロジェクトです。1952年に事業が始まって以来、一貫して、日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。日本のロータリーが協同して運営する奨学財団で、財源はすべてみなさんからのご寄付で成り立っています。日本ロータリークラブ創始者故・米山梅吉氏の生前の功績を讃え、後世まで残るような有益な事業を行いたい。米山奨学



出席報告

| 会員数 | 出席数 | 出席率 |
|-----|-----|--------|
| 34名 | 24名 | 70.59% |

記念事業が始まった時は、米山様はすでにお亡くなりになっておられます。

その功績を称えるために、この事業を立ち上げようとなされた方が古澤上作さんでございます。1952年東京ロータリークラブ会長に就任、外国人留学生のために奨学金制度設立を提唱し、日本で初めてロータリークラブを設立した米山梅吉様の功績を記念いたしまして、米山基金の構想の発表した委員長となります。その背景には二度と戦争の被害を繰り返さないために、平和日本を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという、戦後のロータリアンたちの強い願いでありました。日本ロータリーの背景に戦争、平和への願いが込められている70年の歴史がある素晴らしい事業でございます。

2023年度は900人 新規649人 継続251人、累計奨学生数2万3千509人となっております。全国的に見ても中国が半数ほどを占めています。

中国人の数が多いと感じる方もいると思いますが、中国を優先しているわけではありません。日本の留学生の半数が中国が占めています。高等教育機関における国、地域別留学生23万1146人のうち、中国の人が8万5762人として、47.2パーセントを占めています。地域によっては他の国の来日留学生が少ないというところもあるようです。現在当地区でも国籍の割合・バランスを裁量に加えています。

昨年度合格された奨学生25名（クラブ支援奨学生1名含む）、継続奨学生4名、海外応募継続奨学生1名、合計30名

米山奨学生の採用は、全国統一の基準があります。留学の目的、将来の目標、交流への熱

6月：奨学会で地区選出数を決める
7月：地区で指定校と推薦奨学生数を決める
8月：募集スタート 指定校へ通知および申込で指定校、募集要項を発表
8~10月：締め切り10月15日 指定校での学内選考と申込み
11~12月：書類選考・面接試験
12~2月：合否発表
4月：オリエンテーション 種別別に署名 → 正式に米山奨学生に

米山奨学生が決まるまで

奨学生数の決定と選考

採用基準（全国統一）

- ・ 勉学への意欲、人物面、学業面が優秀
- ・ 将来日本との懸け橋になりうる人材を
- ・ 家庭状況、経済状況は評価対象外

| | | | | |
|-------|--------|-----|-------------|------|
| 将来の目標 | 交流への熱意 | 人間性 | コミュニケーション能力 | 地区裁量 |
|-------|--------|-----|-------------|------|

アメリカ在住の米山学友から突然「米山奨学会に寄付したい」というメールが奨学会に送られてきました。今から60年前の奨学生、中国出身の周順圭（しゅうじゅんけい）さんです。

周さんは5月に事務局を訪問し、50万ドルの寄付を表明しました。

「僕は中国と日本、アメリカの教育機関に寄付をしています。人生でお世話になったこの三つの国に仲良くしてもらいたいし、そのためには若者にもっと交流してほしいという気持ちがあるからです」

1番お金がなくて困って、勉強したくても

恩返しの気持ち



- ・ 周順圭さん
50万ドルの恩返し
 - ・ 中国・日本・米国が
仲良くなしてほしい
 - ・ 世の中に役立つ若者を
支援したい
- そのための寄付



できなかった、その時に助けてくれたのは米山奨学金だった。それに気がついて、本当に遅くなってしまったけれども寄付を受けてほしいと寄付してくださりました。

米山学友会世界大会「再会 in 関東」

世界米山学友による
再会 in 関東
SAIKAI in KANTO

日時： 2023年8月5日・6日
場所： つくば国際会議場、他

登録者数： 1,209人
(学友+奨学生638人、RTN447人、その他家族)

8月4、5日に米山学友による世界大会 再会 IN関東が開催され私も出席してきました。2016年のソウル国際大会に多くの米山学友が参加し、有志による実行委員が結成され2年に1度、米山学友による世界大会を開催することになりました。1回目は熊本、2回目はモンゴル 3回目は台湾の予定でしたが、コロナで延期になり、今年つくばでの開催となりました。東日本大震災で被災したこの場所で地元貢献につなげたいという学友たちの願いがあり選ばれました。世界38ヶ国から1,209名が参加いたしました。学友+奨学生638名、ロータリアン447名とその他家族になります。